令和５年度（２０２３年度）　学習の手引き（シラバス）

長野県岡谷工業高等学校

教科	工業	科目	工業技術基礎	単位数	３	学年	１	科	機　械　科

１、科目の目標

観点	(1) 知識・技能	(2)思考力・判断力・表現力等	(3)学びに向かう力，人間性等
科目の目標	工業技術について工業のもつ社会的な意義や役割と人と技術との関わりを踏まえて理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。	工業技術に関する課題を発見し、工業に携わる者として科学的な根拠に基づき工業技術の進展に対応し解決する力を養う。	工業技術に関する広い視野をもつことを目指して自ら学び、工業の発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

２、使用教科書・副教材

「工業技術基礎」「機械実習１・2」実教出版、「教材プリント」

３、学習の計画

		学習の内容	考査範囲	予定時数
一学期	４月 ５月 ６月	・旋盤　(旋盤加工の基礎、基本的操作の習得) ・手仕上げ　(手仕上げ加工について学ぶ) ・鍛造　(丸棒から平たがねの作成、熱処理、手仕上げの習得) ・鋳造　(鋳造加工の概要の学習、砂型の作成、鋳込みの習得) ・情報　(PowerPoint、Excel の利用方法習得)	考査は行わない	クラスを５つの班に分け、各班で左記の分野を学習する。その際、各班はそれぞれの分野の指定された実習を(３×７)×５＝１０５時間行う
二学期	７月 ８月 ９月 １０月 １１月			
三学期	１２月 １月 ２月 ３月			

４、評価の方法

観点	(1) 知識・技能	(2)思考力・判断力・表現力等	(3)学びに向かう力，人間性等
評価の趣旨	工業の各分野に関する基礎的な知識や技術を身に付け、安全や環境にも配慮し、ものづくりを合理的に計画し、実際の仕事を適切に処理する技能を身に付けているかを観る。	工業技術に関する諸問題の適切な解決をめざして、広い視野からみずから考え、基礎的な知識と技術を活用して適切に判断し、その結果を的確に表現する能力を身に付けているかを観る。	工業技術に興味・関心を持ち、その改善向上をめざして意欲的に取り組むとともに、社会の発展をはかる創造的、実践的な態度を身に付けようとしているかを観る。
評価区分	Ａ：「充分満足できる」状況　　Ｂ：「おおむね満足できる」状況　　Ｃ：「努力を要する」状況		

５、学習にあたっての注意とアドバイス

・服装、整理整頓に気を付け、安全に配慮した実習を行う。
・レポートの提出期限を守る。